

2023年2月20日

各位

会社名 GMO ペパボ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 健太郎
(コード番号 3633 東証プライム)
問い合わせ先 常務取締役 五十島 啓人
TEL 03-5456-3021

上場維持基準の適合に向けた計画書提出のお知らせ

当社は、基準日の2022年12月31日時点において、プライム市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記の通り上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。上場維持基準を充たすための期間を中期経営計画(2023年12月期から2026年12月期)の最終年度となる2026年12月期までとし、各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の状況 (2022年12月31日時点)	3,653人	20,053単位	39億円	36.6%	0.5億円
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画書に記載の項目			○		

(注) 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場上場維持基準の充足に向けた当社の具体的な取組み内容については、添付の「上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上

上場維持基準の適合に向けた 計画書

2023.2.20 GMOペパボ株式会社

GMOペパボ

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間
2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針
3. 現状の課題および取り組み内容
4. 時価総額向上への取り組み
 1. 中期経営計画推進による業績向上
 2. コーポレート・ガバナンス、IR活動の充実
 3. 株主還元施策

上場維持基準の 適合状況および計画期間

GMOペパボ[®]

上場維持基準の適合状況

項目	プライム市場基準	当社	適合状況
流通株式時価総額	100億円	39億円	×
株主数	800人	3,653人	○
流通株式数	20,000単位	20,053単位	○
流通株式比率	35.0%	36.6%	○
一日平均売買代金	0.2億円	0.5億円	○

当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。
(2022年10月~12月の最終価格の平均値をもとに算出)

計画期間

上場維持基準を充たすための期間を、中期経営計画（2023年12月期から2026年12月期）の最終年度となる2026年12月期までとし、各種の取り組みを進めてまいります。

上場維持基準の適合に向けた 基本方針

GMOペパホ

基本方針

当社の企業価値向上と、株式市場での適正な評価の獲得が必要であると捉えております。
そのために、中期経営計画の達成とIR活動の強化に取り組み、時価総額の増加を図ります。

上場維持基準を充足していない「流通株式時価総額」の構成要素

$$\text{流通株式時価総額} = \text{時価総額} \times \text{流通株式数比率} \quad (\text{基準充足済})$$

中期経営計画の達成

コーポレート・ガバナンスと
IR活動による投資家との対話と開示強化

現状の課題および取り組み内容

GMOペパボ®

現状の課題である時価総額の向上に向けた取り組み

1. 中期経営計画推進による業績向上

中期経営計画を推進し、各事業における重点戦略に取り組むことで数値計画を達成し、収益性の向上を図ります。

2. 中期経営計画の概要

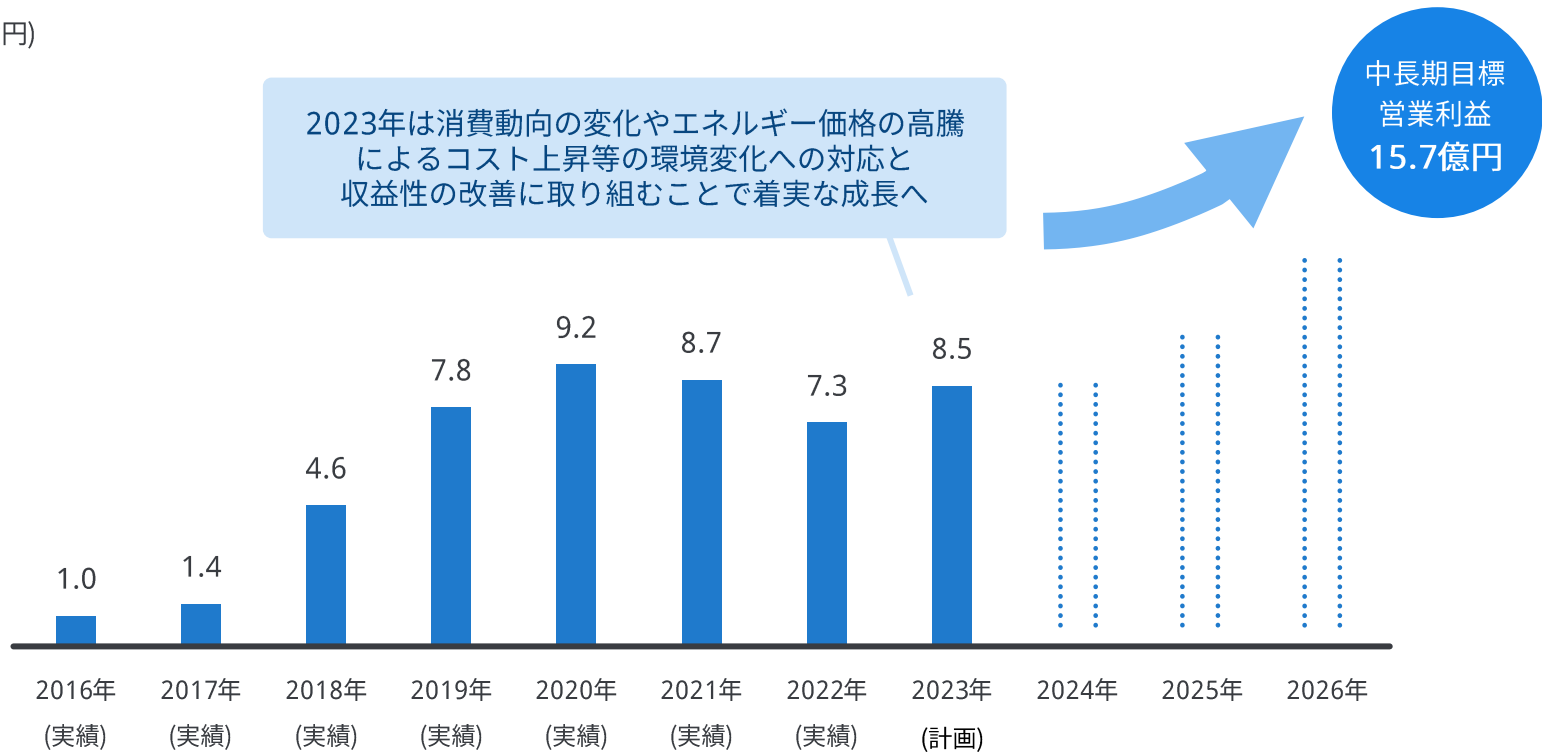
(億円)

	2023年12月期 (計画)	2026年12月期 (計画)	CAGR (3カ年)
売上高	110.6	144.0	9.1%
営業利益	8.5	15.7	22.3%
営業利益率	7.7%	10.9%	—

3. 現状の課題および取り組み内容

2023年以降の着実な成長を実現するため、ストック型ビジネスのさらなる収益性の拡大とフロー型ビジネスの領域拡大により、中長期で15.7億円の営業利益達成を目指す。

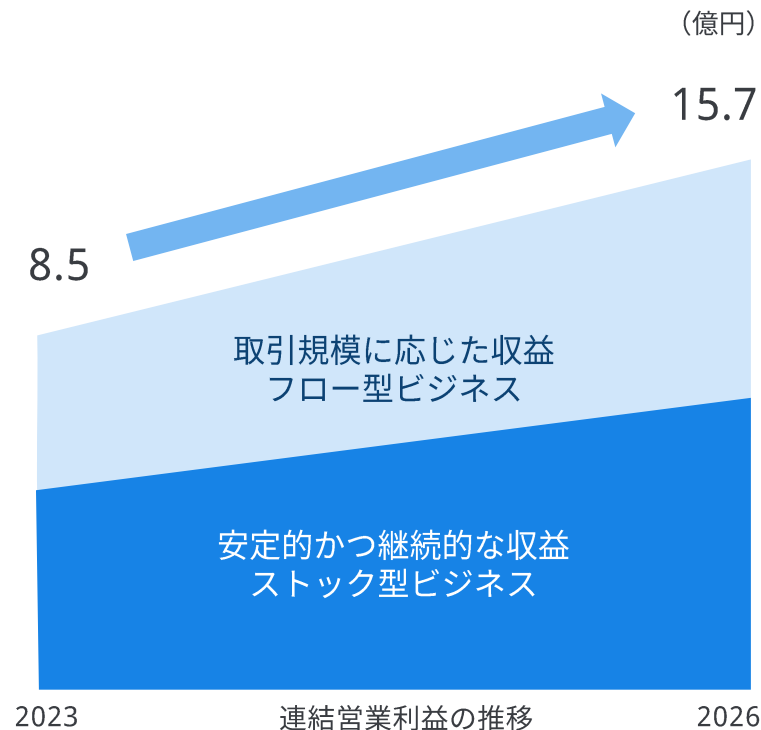
(億円)



3. 現状の課題および取り組み内容 - 中期経営計画推進による業績向上（中長期の成長イメージ）

定常収益が主要なサービスをストック型ビジネス、取引規模に応じた収益が主要なサービスをフロー型ビジネスとし、各サービスでの事業成長を目指す。

主要ビジネス	サービス名	セグメント
フロー型 ビジネス	minne	ハンドメイド事業
	FREENANCE	金融支援事業
	SUZURI	EC支援事業
カラーミーショップ		
ストック型 ビジネス	ロリポップ	ホスティング事業
	ムームードメイン	



3. 現状の課題および取り組み内容 - 中期経営計画推進による業績向上（ビジネス別）

ビジネス別売上高/営業利益計画

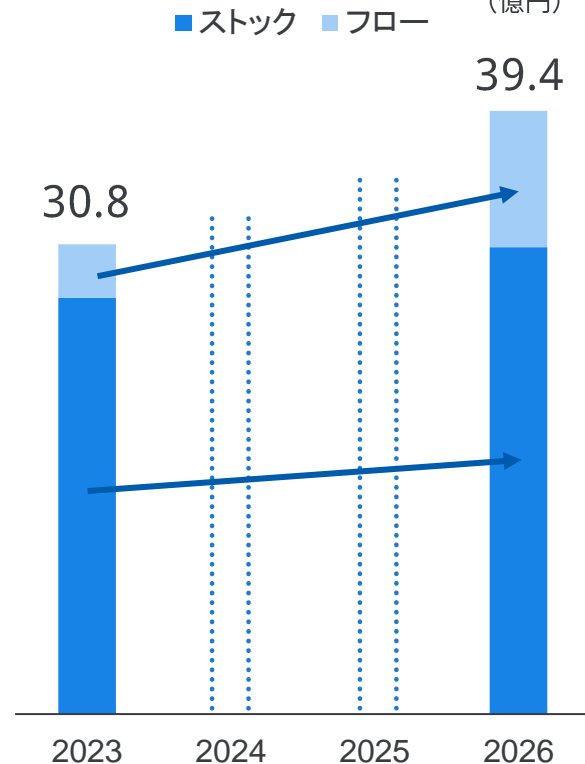
(億円)

		2023年12月期	2026年12月期
売上高	フロー	35.1	51.4
	ストック	75.4	92.2
	合計	110.6	143.6
営業利益	フロー	3.5	8.9
	ストック	27.2	30.5
	合計	30.7	39.4

※その他、本社費等は除く

ストック、フローの営業利益推移

(億円)

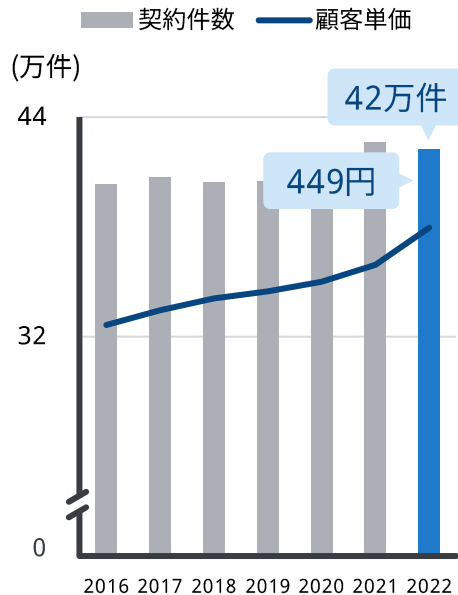


時価総額向上への取り組み

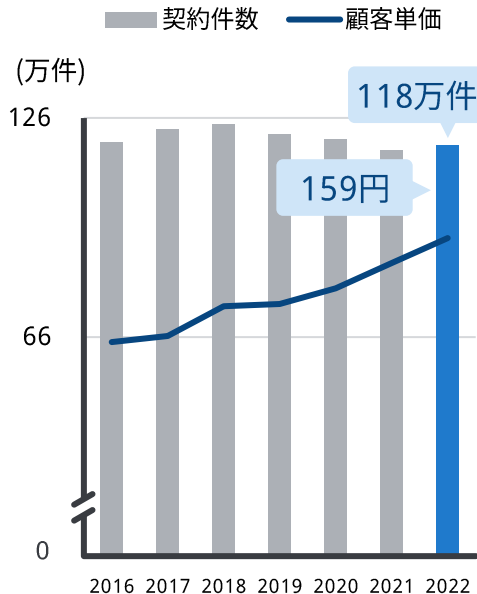
GMOペパボ®

ロリポップ、ムームードメイン、カラーミーショップが中心となるストック型ビジネスでは顧客単価が順調に拡大し、安定した収益基盤に成長。

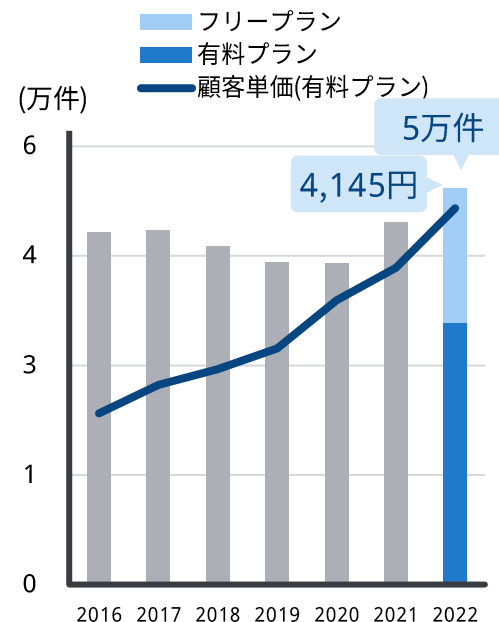
ロリポップ！



ムームードメイン



カラーミーショップ



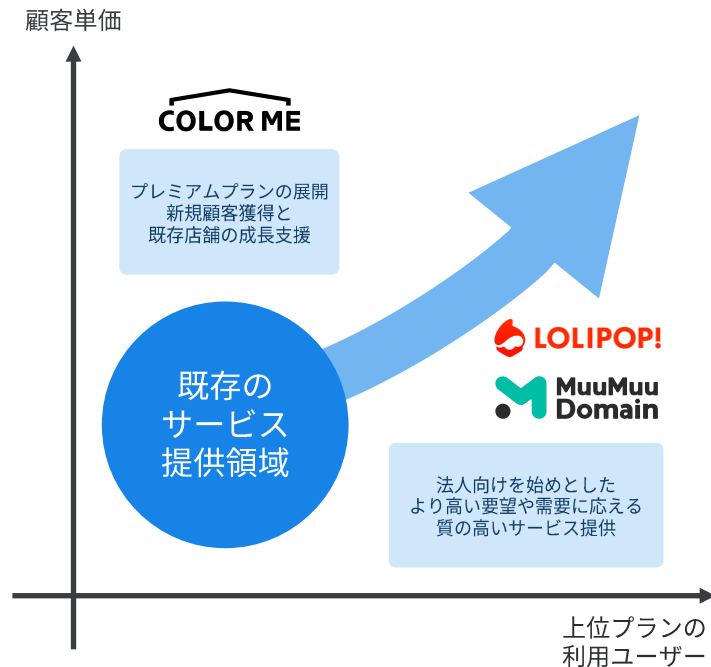
ストック型ビジネスでは、より安定的で高い収益の獲得を目指すため、優良な顧客となる上位層の獲得や、法人向けの施策展開による契約増加を目指す。

ロリポップ/ムームードメイン

- アフィリエイトを活用した契約獲得(2023~)
- 高品質かつビジネス利用を目的としたサービス(2024~)
- 手軽にかつ、汎用性の高いサービス提供(2024~)

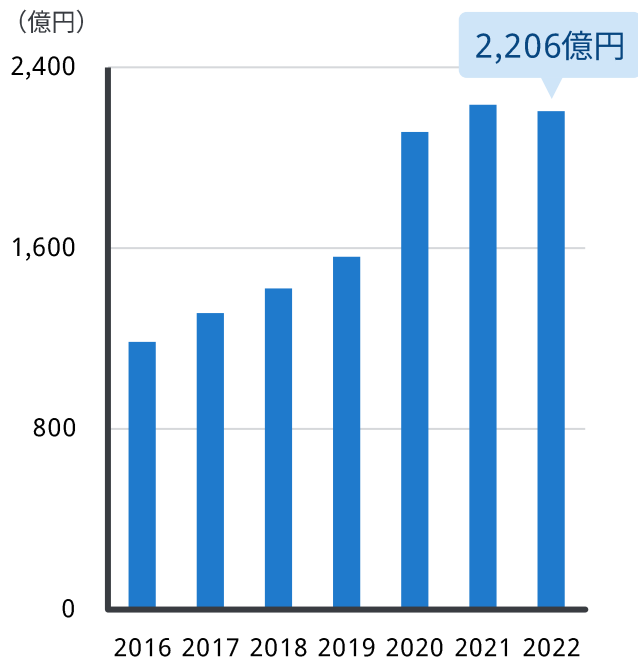
カラーミーショップ

- 既存店舗の規模拡大に合わせたプラン提供(2023~)
- 月商200万円以上の店舗向け機能の提供(2023~)
- ECアドバイザーによる店舗サポート(2023~)

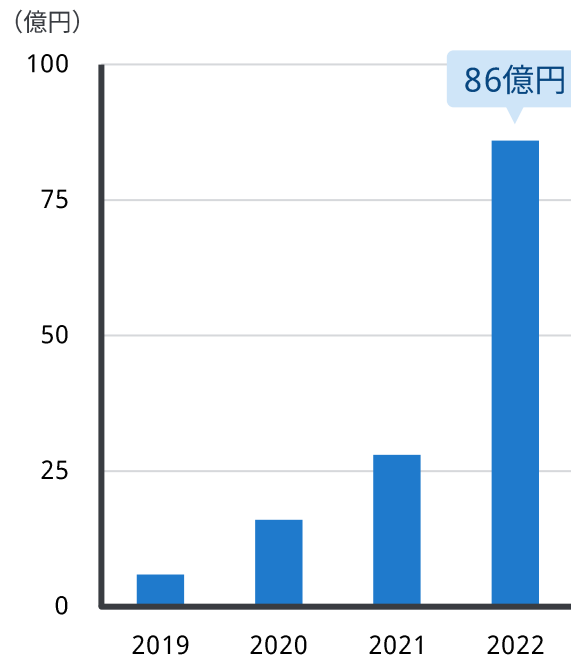


EC関連サービス(カラーミーショップ、SUZURI、minne)のGMVはコロナ禍で2,000億円以上に成長、FREENANCEの請求書買取額が2022年は急拡大。

EC関連サービスの流通額推移



FREENANCEの請求書買取額推移



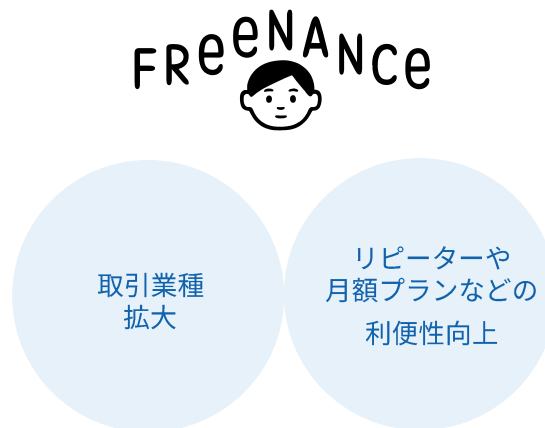
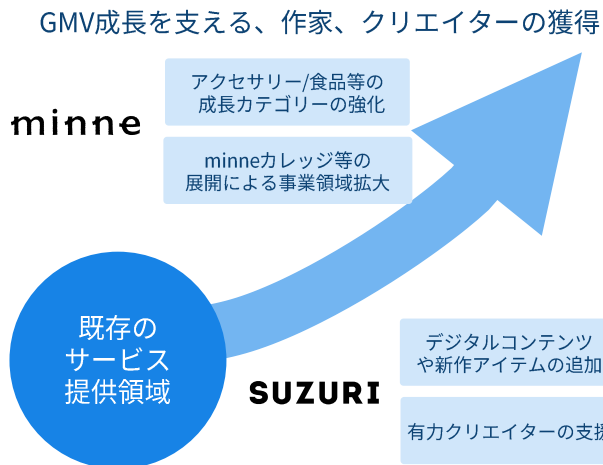
フロー型ビジネスの新領域展開やカテゴリー強化による作家、クリエイターの獲得とGMVや請求書買取規模の拡大による事業成長。

SUZURI、minneのGMV成長の拡大

- ・ アクセサリーや食品など好調カテゴリーの強化(2023~)
- ・ minneカレッジ、デジタルコンテンツの展開本格化(2024~)
- ・ 越境対応の促進(2023~)

FREENANCE請求書買取金額の拡大

- ・ 取引業種の拡大(2023~)
- ・ ともだち企業など与信枠拡大によるリピート強化(2023~)
- ・ 月額プランや保険プランの強化による顧客獲得(2024~)



コーポレート・ガバナンス

「コーポレートガバナンス・コード」のうち、プライム市場のみに適用、あるいはプライム市場に加重される以下の原則を中心に実施いたします。

補充原則

- 1-2 [4] : 機関投資家向けに議決権電子行使プラットフォームを利用可能とすべき
- 3-1 [2] : 開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき
- 3-1 [3] : 気候変動に係るTCFDと同等の開示の質と量の充実を進めるべき
- 4-8 : 独立社外取締役を少なくとも3分の1以上選任すべき
- 4-10 [1] : 各委員会(指名委員会・報酬委員会)の構成員の過半数を独立社外取締役とすることを基本とし、その委員会構成の独立性に関する考え方・権限・役割等を開示すべき

コーポレート・ガバナンス（2023年2月時点での対応状況）

- 1-2 [4] : 機関投資家向けに議決権電子行使プラットフォームを利用可能とすべき
→ 2024年以降の議決権電子行使プラットフォーム導入に関して検討を継続
- 3-1 [2] : 開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき
→ 2022年より株主・投資家向けホームページ、決算説明会資料等の英文開示の強化を実施
- 3-1 [3] : 気候変動に係るTCFDと同等の開示の質と量の充実を進めるべき
→ 2023年より、TCFD提言に基づくガバナンス、戦略、リスクマネジメント、指標と目標の検討・議論を行い、有価証券報告書等での報告を実施
- 4-8 : 独立社外取締役を少なくとも3分の1以上選任すべき
→ 選任の検討を実施、詳細は「取締役候補者の選任のお知らせ」にて開示
- 4-10 [1] : 各委員会(指名委員会・報酬委員会)の構成員の過半数を独立社外取締役とすることを基本とし、その委員会構成の独立性に関する考え方・権限・役割等を開示すべき
→ 2022年開示のコーポレート・ガバナンスコードにて対応済

IR活動

決算資料、ホームページ等の情報開示の強化と投資家との対話を推進し、持続的な企業価値向上を実現します。

・情報開示の充実

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る観点から、情報開示の充実を進めます。

その一環として、2022年12月期は、海外投資家等に向けた決算資料（決算短信サマリー・決算説明会資料・データ集）の英語版開示のほか、ホームページの改変や企業リサーチレポートの発行を行いました。企業価値向上のため機関投資家向けの企業リサーチレポート発行による開示強化を進めてまいります。

・認知度向上施策

機関投資家向け決算説明会は年4回、個人投資家向けの会社説明会は年1回以上と情報発信機会を積極的に設けることで、幅広い投資家の認知度向上を図っております。2022年12月期は、中長期の戦略や個人投資家向けのホームページのリニューアル、会社説明会資料の更新、PR開示の実施、Twitter等での告知を実施いたしました。直近ではログミー株式会社を活用しての個人投資家向け会社説明会を予定しております。

・対話の推進

各四半期決算後に実施している機関投資家との面談（1on1）において、事業内容や業績説明だけでなく当社の持続的な成長を目的に、機関投資家との対話を推進しております。

配当政策 事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上と業績に連動した配当を実施することを株主還元とし、配当性向50%以上を基本方針としております。

	2019	2020	2021	2022	2023（予想）
1株当たり年間配当（円）	65.00	81.00	68.00	50.00	55.00
配当性向（%）	62.4	50.9	50.3	51.9	50.6

株主優待 当社およびグループ企業の提供サービスで利用できるポイントやクーポン、キャッシュバック等の提供

優待1 当社提供サービスに使用できる
ポイント及びクーポンを配布

- 保有株式数 1 単元（100株） 1,500円分
- 保有株式数 2 単元（200株）以上 3,000円分

優待2 GMOクリック証券で対象の取引を行った
場合の手数料相当額をキャッシュバック

- 買付手数料キャッシュバック（当社株式のみ）
- 売買手数料キャッシュバック
 - 保有株式数 1 単元（100株） 上限 1,500円
 - 保有株式数 2 単元（200株）以上 上限 3,000円

経営資本・強み
インプット

GMOペパボの事業活動と価値提供
アウトプット

業績と社会に提供する価値
アウトカム

人的資本

アウトプットを推奨する企業風土と内製化により蓄積されたノウハウ高いエンジニアスキルやデザイン知識を保有する多様な人材構成

社会・関係資本

複数のサービスを利用する表現者とファンによって生み出される経済圏

知的資本

ペパボ研究所やWeb3推進室をはじめとした、技術研究や投資

財務資本

ストック収益による安定かつ継続的収益の獲得と強固な財務基盤

自然資本

表現活動のハードルを下げる支援と環境負荷の低減

企業・サービスを通じた価値提供

GMOペパボ

企業理念

もっとおもしろくできる

ミッション

人類のアウトプットを増やす

- ▶ ビッグピクチャー実現に基づく事業戦略の実行と投資
- ▶ 研究開発組織やアセットを活用した新規技術への取り組み
- ▶ 鹿児島等の地域支援や出資による企業ブランド向上

ホスティング
事業
ロリポップ!
ムームードメイン

EC支援事業
カラーミーショップ
SUZURI

ハンドメイド
事業
minne

金融支援事業
FREENANCE

ESG/SDGsの重要課題

環境(E)

環境負荷の低減を通じた地球環境への配慮と保全



社会(S)

あらゆる人々を支援し人類のアウトプットを増やす



ガバナンス(G)

ガバナンスの強化による健全で透明性のある企業経営



クリエイターとユーザーが作る経済圏を拡大し、社会をもっとおもしろくする

アウトプットを生むための参入障壁をなくし、表現活動の発信、発展を支援する




中期経営計画の達成と持続的な企業価値の向上




- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で加工・改編を行わないようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

GMOペパボ株式会社

 ir@pepabo.com


コーポレートサイト

 <https://pepabo.com/>

IR情報

 <https://pepabo.com/ir/>

GMOペパボ公式Twitterアカウント

 @pepabo